

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

報告日 令和7年11月13日

P T A名		静岡県立浜松視覚特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	24人				

1. 使用状況

寄贈物品名	電子ドラムセット
使用学年及び人数	中学部、高等部 9人
使用頻度	週1回程度
使用状況	<p>中学部では今年の9月から11月にかけて、ビートルズの楽曲「レットイットビー」をドラムを入れて演奏した。また放課後の部活動でも音楽部の生徒がドラムを練習で使用し、文化祭で発表した。普段から中学部の教室に設置してあるため、授業だけでなく休み時間にも、演奏を楽しんでいる。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>ドラムを希望した生徒は、嬉々として練習に取り組み、楽曲の中でフィルインを自分で工夫して入れるなどの上達が見られた。音量を変えられるので、周囲の状況を気にすることなく、普段から練習に取り組み、それが成果につながっている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>来年度の文化祭に向け、中学部や高等部では、エレキギターやキーボードと合わせて、バンド演奏を楽しむ活動を行っていきたい。また本校で夏季休業中に実施している、視覚障害者を対象にした『大人のためのサマースクール』では、「ドラムをやってみたい」という声が多く聞かれるため、そのような機会に一般の方々にドラムの楽しさを伝える活動も行いたい。</p>
その他希望や所感など	<p>ドラムは、やりたくても練習する場がないという話をよく耳にするが、電子ドラムは、ヘッドホンをしたり、音量を調節したりすることで、周囲の目を気にすることなく演奏ができるので、練習に取り組みやすい。生徒たちが、意欲的に練習する様子を見て、大変良かったと思っている。</p>

2. 活用の様子



<エイトビートで正確にリズムを刻んでいます>



<フィルインでは、細かくリズムを刻んだ後、シンバルを叩きます。>

* 生徒の感想

浜松視覚特別支援学校には、本物のドラムと電子ドラムがありますが、ぼくは電子ドラムが好きです。本物のドラムより、タムが一つ多く、細かく音を刻む技も、やりやすいからです。